

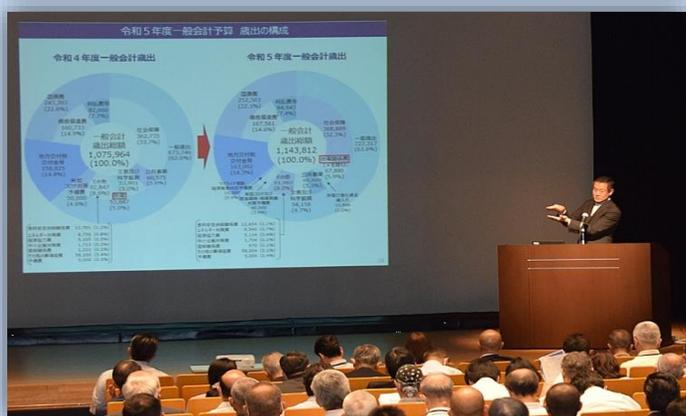
第42回防衛問題セミナー実施結果概要

令和5年10月5日（木）、神奈川県横浜市の市民文化会館（関内ホール・小ホール）において、第42回「防衛問題セミナー」を開催し、定員250名のところ225名の方に来場していただきました。

今回のセミナーでは、防衛省整備計画局の北岡施設計画課長を講師に迎え、「新たな国家安全保障戦略、国家防衛戦略、防衛力整備計画」と題して講演していただきました。

はじめに、令和4年12月に閣議決定された戦略3文書の概要について分かりやすく説明され、その上で、まずは外交努力が第一であり、その外交を実効性のあるものとするため、裏付けとしての防衛体制の強化が必要であると述べられました。また、今後の最優先課題について触れるとともに、主に防衛力の抜本的強化の7つの柱について解説されました。

講演後の質疑応答では、「施設の強靱化のマスタープランを令和5年度から3年かけて作って強靱化していくということだが、2027年度までの5年間の一つの節目までに、施設の強靱化が間に合うのか。」「建設分野では、これまで残業規制が適用外だったが、来年4月から適用される。業界内では業務に制約がかかるのではないかと懸念が出ているが、施設強靱化が本格化する中でその影響についてはどう考えているのか。」などの質問があり、講師が一つ一つ丁寧に回答されました。



講演中の北岡施設計画課長



質疑応答の様子

来場された方々からは、「戦略3文書の内容・位置づけの説明が分かりやすく、よく理解できた。全体として時間が短いと思われる。1.5時間～2時間程度でお願いしたい。」「施設整備強化の視点からの説明が大変勉強になった。」「防衛力整備の根本である人材育成について説明してほしい。特に少子化が進む中で、今後どのように自衛官を維持していくのか知りたかった。」など多くの感想が寄せられました。

今回寄せられたご意見やご感想を踏まえつつ、防衛政策や自衛隊の活動について、国民の皆様にご理解を深めていただけるよう、今後も防衛問題セミナーを開催してまいります。